

平成27年度第1回 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 平成28年2月4日（木） 10:00～12:00

2 場所 鎌ヶ谷市役所本庁舎6階 第1・第2委員会室

3 出席委員

引田満委員、西智子委員、山本幸子委員、加郷由里子委員、甲斐貴子委員、松村幸江委員、矢作政子委員、高橋良子委員、大森創委員、大西満委員、賀川陽子委員、加羽沢こずえ委員

4 事務局

望月健康福祉部長、斉藤健康福祉部次長（幼児保育課長）、小笠原こども支援課長、菅井健康増進課長、三橋こども総合相談室長、鈴木幼児保育課主幹（幼児保育課施設整備係長）、星幼児保育支援係長、今井こども支援係長、菊池主査（子育て支援センター）、安田主任主事（幼児保育課）、能登谷主事（こども支援課）

5 記録 能登谷

6 傍聴者 0人

7 議題

- (1) 家庭的保育事業等に係る認可について【諮問事項】
- (2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る確認について【諮問事項】

8 報告事項

- (1) 鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画のポイント
- (2) 平成27年度の主な事業の進捗状況について
- (3) 平成27年度その他の子育て支援の取組状況について
- (4) 子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について
- (5) その他

9 配布資料

諮問書

- 資料 1 鎌ケ谷市子ども・子育て会議委員名簿
- 資料 2 家庭的保育事業等に係る認可について
- 資料 3 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る確認について
- 資料 4 - 1 平成 27 年度 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
(幼児期における教育・保育 (子どものための教育・保育給付))
- 資料 4 - 2 平成 27 年度 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
(利用者支援事業 他 12 事業)
- 資料 5 - 1 鎌ケ谷市子育て支援 PR 事業の概要
- 資料 5 - 2 児童センター等設備環境改善事業について
- 資料 5 - 3 保育園 地域子育て支援拡充事業について
- 資料 6 子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について
- 参考資料 1 児童福祉法 (抜粋)
- 参考資料 2 鎌ケ谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 参考資料 3 子ども・子育て支援法 (抜粋)
- 参考資料 4 鎌ケ谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する
基準を定める条例

10 会議内容

《会長・副会長の選出》

委員からの推薦により、会長は山本委員、副会長は西委員に決定した。

《議題》

(1) 家庭的保育事業等に係る認可について【諮問事項】

- ① 事務局が資料 2 に基づき説明
- ② 質疑応答

委員 調理室が併設されていますが、アレルギー対応食を調理することはできるのか伺います。

事務局 基本的には対応可能と考えています。実際にアレルギーを持った児童が入所した際には、運営事業者と協議したうえで実施します。

委員 栄養士は配置するのか伺います。

事務局 連携施設となるふじのこ保育園等に栄養士が配置されているため、当該栄養士から指導を受けることを予定しています。

委員 施設開設日を伺います。

事務局 平成28年4月1日を予定しています。

委員 全国的に保育士が不足していると聞いていますが、保育士を確保できるのか伺います。

事務局 基準の保育士を確保できるものと聞いております。

③ 決議結果 承認（全員一致）

(2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業に係る確認について【諮問事項】

① 事務局が資料3に基づき説明

② 質疑応答

委員 今回諮問されている2園については、開園されることは決定であると思われるが、この会議に諮問する確認内容を伺います。

事務局 今回の諮問につきましては、定員数についてご意見をいただくものとなります。

また、保育園の開園については、保育の見込を立てながら最終的に千葉県に届出を行い、県の認可を得ることになっています。当初の予定では120名の定員となっていました。施設の規模などの条件で難しく90名の定員と変更したところであります。

小規模保育事業所については、子ども・子育て会議においての意見を踏まえ、鎌ヶ谷市で認可することとなっています。

委員 当初120名の定員ということでしたが、120名まで受入可能な施設なのか伺います。

事務局 施設規模が90名定員となるため、120名の受け入れをすることはできません。

委員 仮称「たかし保育園新鎌ヶ谷」は民間の事業所が運営するのか伺います。

事務局 民間の事業所が運営します。

委員 事業所の詳細について伺います。

事務局 仮称「たかし保育園新鎌ヶ谷」を運営する事業所は、社会福祉法人茂原高師保育園という法人であり、千葉市で1園、茂原市で2園、浦安市で2園を運営しています。また、保育所以外にも高齢者施設の運営実績もあり、

鎌ケ谷市民間保育所保育運営事業者選考委員会において承認を得ており、運営に問題はないと認識しています。

委員 2園を開設することにより、待機児童は発生しない見込みなのか伺います。

事務局 平成28年4月1日時点では、待機児童は発生しないことを見込んでいます。

③ 決議結果 承認（全員一致）

《報告事項》

（1） 鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画のポイント

- ① 事務局より鎌ケ谷市子ども・子育て支援事業計画書に基づき説明
- ② 質疑応答なし

（2） 平成27年度の主な事業の進捗状況について

- ① 事務局より資料4-1及び4-2に基づき説明
- ② 質疑応答

委員 資料4-1「平成27年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の幼児期における教育・保育」の保育の量の見込みについて、新鎌ケ谷地区を中心に宅地整備が進んでいますが、不動産屋などに宅地整備に関するヒアリング等を実施し、保育の量の見込みの見直しを図ることを検討しているのか伺います。

事務局 保育の量の見込みの見直しについては、状況を踏まえ、中間年の平成29年度に実施することを予定しています。

委員 資料4-1について、昨年度、小規模保育事業所を中心に保育利用可能人数を増加しているところではありますが、小規模保育事業所は2歳までの利用となっているため、3歳以降の利用ができないかもしれないという不安があります。3歳以降については、近隣の保育園を利用することはできる状況なのか伺います。

事務局 小規模保育事業所については、それぞれ連携施設があるため、3歳以降については、連携施設に入園することが可能となります。

委員 資料4-2のつどいの広場事業について、一般企業などと連携し、実施場所の提供を増やしていただきたいと考えていますが、事務局の考えを伺

います。

事務局 今年度より雇用している子育て支援コーディネーターが中心となり、民間企業との連携、情報発信などを検討したいと考えています。

委員 資料４－２の利用者支援事業について、利用状況を伺います。

事務局 利用者支援事業は、平成２７年１０月から仮稼働し、平成２８年１月から本格稼働しております。利用状況については、各児童センターなどに出張して相談業務を行っており、平均３０名の利用があります。

委員 資料４－２の利用者支援事業の周知について、民間事業所との連携を考えているとのことでしたが、どのようなことを想定しているのか伺います。

事務局 民間事業所とのタイアップについては、例えばコープやイトーヨーカ堂などが実施しているつどいの広場やイベントと連携し、行政や民間という垣根を越えて実施していきたいと考えています。

委員 資料４－２の利用者支援事業について、ポータルサイトなどを開設し周知を図ろうとしていることは評価していますが、まずポータルサイトを見てもらわなければならないため、周知のためにリーフレットなどを配布していただきたい。

事務局 リーフレットなどの配布について検討していきたいと考えています。

委員 資料４－２の延長保育事業について、保育士不足が懸念されているということでしたが、現状では、どの程度不足しているのか伺います。また、課題と今後の確保策について伺います。

事務局 現状では、保育士不足はない状況となります。今後としては、安定的な確保が課題であり、これは全国的な傾向であるため、国全体の課題と認識しています。

国においては、保育士確保のための家賃補助などが示されているため、このような補助を活用しながら総合的に実施することを考えています。

委員 資料４－２の放課後健全育成事業について、保育園等を利用した方がそのまま利用すると考えていますが、現在待機児童は発生しているかどうか伺います。また、保育園と連携しているのか併せて伺います。

事務局 現在、待機児童は発生していない状況となります。また、保育園とは、児童の状況に応じて連携を取っているところでもあります。

委員 保育士の安定的な確保について、保育士等を専門に勉強している学生が、一般企業に流れていないかどうか伺います。

委員 聖徳大学では、9割は保育士等になって、保育園等に勤務しています。

残りの1割については、実地研修などを経験した中で、保育園等よりも一般企業を望んで就職している状況となります。

委員 資料4-2の放課後健全育成事業について、質の向上を目指し各種体験教室を実施していますが、その効果について伺います。

事務局 体験教室については、今年度から実施した事業であり、夏休み期間に専門員を派遣して実施したところであります。児童たちは汗を流して真剣に取り組むとともに、保護者を対象に実施したアンケート結果については、96.7パーセントの満足度を得ていることから、一定の効果があったものと認識しています。

委員 資料4-2の放課後健全育成事業について、民間事業者の誘致は検討しているのか伺います。

事務局 鎌ヶ谷市内9校の小学校に放課後児童クラブは10施設あり、東部小学校のみ父母会で実施しています。柏市などは民間参入を行っていますが、現状では、民間参入を検討していない状況であり、既存施設の充実を図り統一的な実施と事業の充実を図ることを目指しています。

会長 時間が迫っておりますので、ここで質疑応答については、終了させていただきます。皆様の中で他に質問がある方は、文章にて事務局に提出していただき、後日事務局から回答していただくこととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

事務局 異議なし

(3) 平成27年度その他の子育て支援の取組状況について

- ① 事務局より資料5-1から5-3に基づき説明
- ② 質疑応答なし

(4) 子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について

- ① 事務局より資料6に基づき説明
- ② 質疑応答

委員 点検評価の方法についてだが、外部評価やニーズ調査を実施することは検討しているのか伺います。

事務局 外部評価については、本会議が外部評価の場と考えています。また、ニ

ーズ調査については、予定していませんが、平成29年度に見直しの必要があれば、ニーズ調査も検討していきたいと考えています。

(5) その他

事務局より、次回子ども・子育て会議に関する日程等について説明した。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成28年2月24日

氏名 引田 満

氏名 加郷 由里子